

**「日本女性放射線腫瘍医の会  
Japanese Association for  
Women Radiation  
Oncologist(JAWRO)」の紹介**

**関西医科大学総合医療センター放射線科  
播磨洋子**

2009年9月19日 Komaki先生を囲んで京都国際会館第5会場で  
第2回「日本女性放射線腫瘍医の会」開催（26名参加）



## 活動

1. セミナー 特別講演 親睦会
2. 助成事業

年度	月日	内容
2009	4/18	第1回 JAWROの会
	9/19	第2回 JAWROの会
2010	11/19	<b>Girl's Night</b>
	11/20	セミナー「女性腫瘍医の今と未来を考えるセミナー」
2011	11/29	ティータイムセミナー
2012	4/14	講演会
	11/24	<b>Girl's Night</b>
2013	4/12	<b>Girl's Night</b>
	10/19	ティータイムセミナー
2014	4/12	<b>Girl's Night</b>
	4/13	セミナー
	12/12	セミナー
2015	4/19	ティータイムセミナー
		<b>Girl's Lunch</b>
	11/21	特別講演（Reshma Jagsi先生）
		<b>温泉ナイト</b> （伊香保温泉に宿泊）
2016	4/16	特別講演（山田有希子先生）
		<b>Girl's Night</b>

# セミナー・講演会

年月日	タイトル	演題名	演者（敬称略）
2010/11/20	女性放射線腫瘍医の 今と未来を考えるセ ミナー	<ul style="list-style-type: none"><li>● 日米両国の医療現場 に身をおいて感じた こと</li><li>● 女性放射線腫瘍医の 満足度を高めるため に</li><li>● 日本女性放射線腫瘍 医の会について</li><li>● 女性放射線腫瘍医に 期待すること</li></ul>	齋藤アンネ優子  内田伸恵  播磨洋子  唐澤克之
2011/11/29	ティータイムセミ ナー	<ul style="list-style-type: none"><li>● 女性放射線腫瘍医と しての経験から後輩 へ伝えたいこと</li><li>● 女性放射線腫瘍医と して歩み始めて</li><li>● JASTROから女性放射 線腫瘍医に期待する こと</li><li>● 女性医師のキャリア パス</li></ul>	野崎美和子  西淵いくの  平岡真寛  瀧野敏子（イー ジェイネット）

# セミナー・講演会

年月日	タイトル	演題名	演者（敬称略）
2012/4/14	講演会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ある視点から女性治療医の将来を占う</li> </ul>	永倉久泰
2013/10/19	ティータイムセミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究助成報告</li> <li>● 研修助成報告</li> <li>● 講演1「Women's gateway-世界で活躍する女医・ママを目指して」</li> <li>● 講演2「日本の放射線腫瘍学の展望」</li> </ul>	齋藤アンネ優子 川村麻里子 ノルシャズリナ スライマン  西村恭昌
2014/4/13	セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指宿の陽子線治療と女性医療者への期待</li> </ul>	菱川良夫
2014/12/12	講演会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 遺伝性乳がん・卵巣がん症候群と遺伝カウンセリング</li> </ul>	青木美紀子（聖路加国際病院遺伝診療部 看護師・認定遺伝カウンセラー）
	助成報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ESTRO 33 に参加して一医学物理士の立場から一</li> </ul>	黒河千恵

# セミナー・講演会

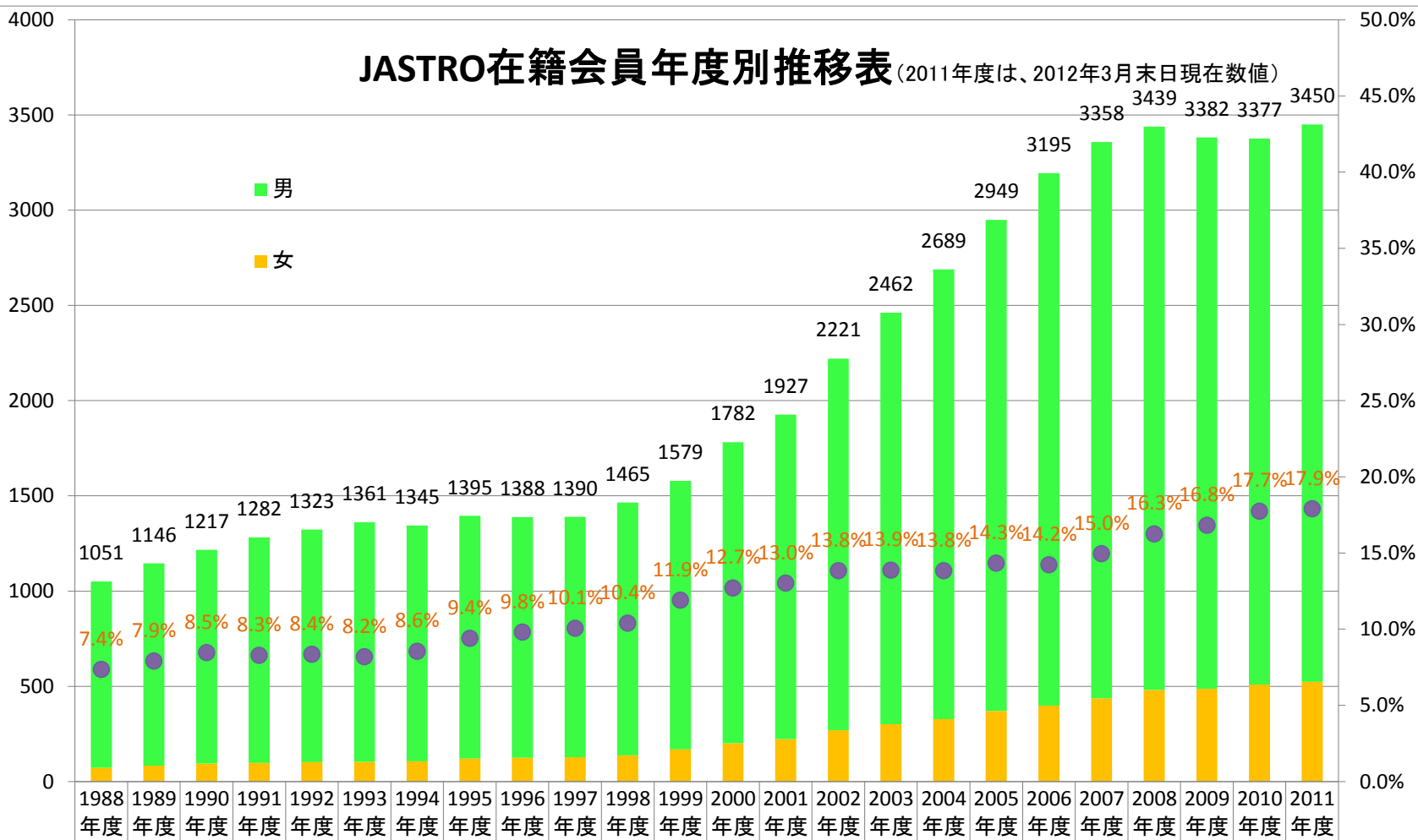
年月日	タイトル	演題名	演者（敬称略）
2015/5/12	ティータイム セミナー	<ul style="list-style-type: none"><li>● 研究助成報告「医師の多様性を受け入れるために」</li><li>● ゲルスパーサーの研究と臨床応用、それまでに支えてくれた素晴らしい人達</li></ul>	伊井憲子  岸和史
2015/11/21	特別講演	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>Regional Nodal Radiotherapy for Breast Cancer</b></li></ul>	<b>Reshma Jagsi</b> (ミシガン大学 Deputy Chair of the Department of Radiation Oncology)
2016/4/16	特別講演	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>患者の自己決定権を考える —その思想的背景から—</b></li></ul>	<b>山田有希子</b> (宇都宮大学教育学部 哲学・倫理学研究室 准教授)

# 助成（6名）

年度	受賞者（敬称略）	学会名
2011	関西医科大学 放射線科学講座 角田貴代美	第49回日本癌治療学会 口演発表
2012	福井県立病院陽子線がん治療センター 川村麻里子	1 <sup>st</sup> Annual MD Anderson Proton Therapy Center Workshop (USA)参加
2012	順天堂大学放射線科学講座 齊藤アンネ優子	女性放射線腫瘍医の就労 調査
2014	順天堂大学医学部 放射線医学教室 放射線 治療学講座 黒河千恵	欧州放射線腫瘍学会 「ESTRO 33」参加ポス ター発表 (オーストリア)
2014	済生会松坂総合病院後期女性研修医 渡邊裕衣	JASTRO参加
2016	がん研有明病院 放射線治療部 後期レ ジデント 熊井康子	欧州放射線腫瘍学会 「ESTRO 35」参加 (イタリア)



# JASTRO在籍会員年度別推移表 (2011年度は、2012年3月末日現在数値)



■ 男	979	1062	1122	1184	1221	1258	1239	1275	1264	1263	1327	1411	1581	1705	1951	2162	2362	2579	2797	2921	2958	2895	2868	2926
■ 女	72	84	95	98	102	103	106	120	124	127	138	168	201	222	270	300	327	370	398	437	481	487	509	524
在籍計	1051	1146	1217	1282	1323	1361	1345	1395	1388	1390	1465	1579	1782	1927	2221	2462	2689	2949	3195	3358	3439	3382	3377	3450
● 女性比	7.4%	7.9%	8.5%	8.3%	8.4%	8.2%	8.6%	9.4%	9.8%	10.1%	10.4%	11.9%	12.7%	13.0%	13.8%	13.9%	13.8%	14.3%	14.2%	15.0%	16.3%	16.8%	17.7%	17.9%

**JASTRO会員数の増加とともに女性会員数の割合も増加している**

# JASTRO女性会員数の比較

	2010/11/4	2016/11/4	増加人数
男性会員	2966 (人)	3057 (人)	91 (人)
女性会員	460	707	247
計	3426	3764	338
女性割合	13.4%	18.8%	

**女性会員数、および女性の割合は増加**

# JASTRO会員の年度別比較

		2010/11/4	2016/11/4	増加数
医師	男性	1366	1483	117
	女性	222	335	113
	計	1588	1818	230
	女性割合	14.0	18.4	
技師	男性	1173	1243	70
	女性	105	132	27
	計	1278	1375	97
	女性割合	8.2	10.6	
看護師	男性	6	10	4
	女性	98	203	105
	計	104	213	109
	女性割合	94.2	95.3	

JASTRO女性会員の割合が増加し、看護師数が2倍になっている

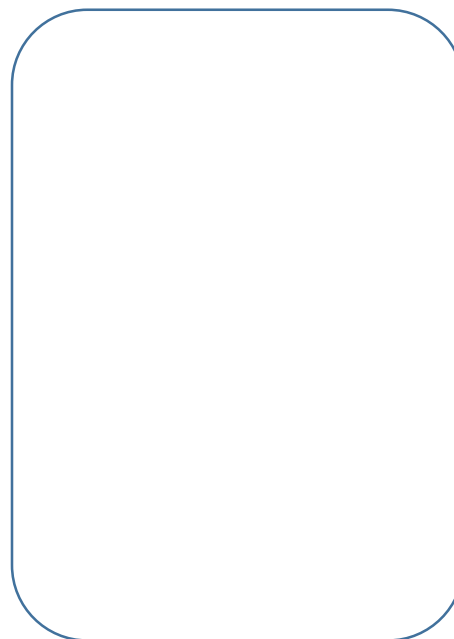
# JASTRO会員内訳(2016/11/6)

	男性	女性	合計
医師	1483	335	1818
歯科医師	24	10	34
獣医師	6	0	6
技師	1243	132	1375
研究者（生物・物理）	160	16	176
看護師	10	203	213
薬剤師	3	0	3
その他	119	11	130
不明	9	0	9
合計	3057	707	3764

## JASTROにおけるJAWRO会員の変遷

- JAWRO会員は2010年は52名であったが2016年は81名(正会員78名、準会員3名)に増加
- JASTRO 女性会員707名のうち、女性医師・研究者は351名、そのうちJAWRO会員は78名で22.2%
- JAWROにJASTRO女性会員の方のみならず、準会員として男性医師・男性研究者にも是非とも入会していただき、今後さらに活動を発展していきたい

**キュリー夫人から何を学ぶか？  
日本には、なぜ女性ノーベル賞受賞者が1人もいないのか？**



ポーランド出身のマリー・キュリー（フランス国籍）  
**女性初のノーベル賞受賞者**  
1903年にノーベル物理学賞、1911年には化学賞を受賞

## 【ノーベル賞】世界上位の受賞数を誇る日本には、なぜ女性受賞者が1人もいないのか

[BuzzFeed Japan](#) 2016/10/4 17:01 配信

- 2015年度までに、874の個人と26の組織がノーベル賞を受賞
- そのうち女性は48人
- 自然科学分野に限れば、女性受賞者は17人
- 東京工業大学栄誉教授の大隅良典さんが医学・生理学賞を受賞し日本人のノーベル賞受賞者は25人と、世界で7番目
- では、なぜ日本の女性受賞者がでないのか



**「女性の研究者が少なく、裾野が広がっていないことが一番の要因です」**  
[小川真里子・三重大名誉教授（科学史・科学論）]



## 研究者に占める女性の割合の国際比較

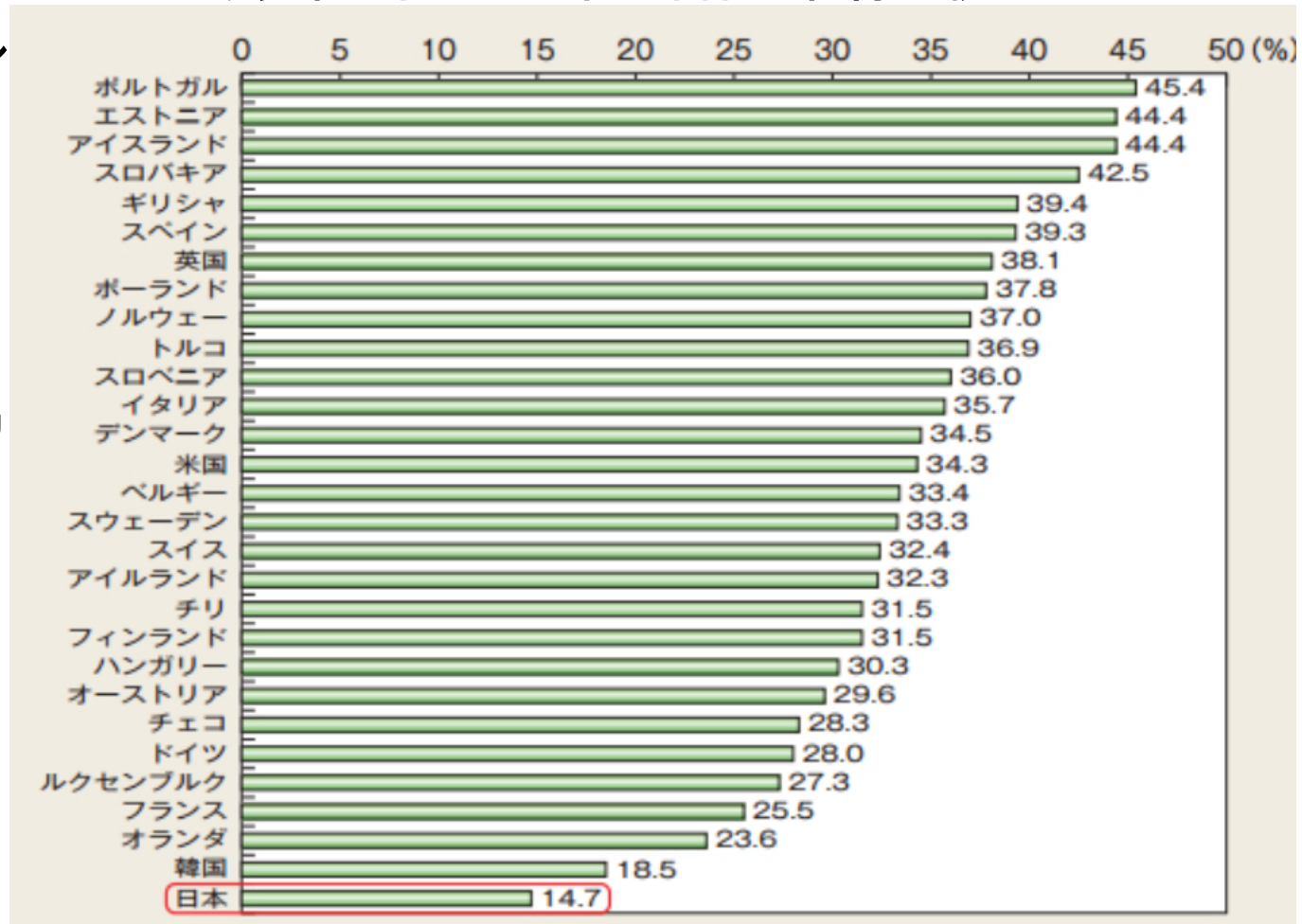
ポルトガル



アメリカ



日本



45.4%

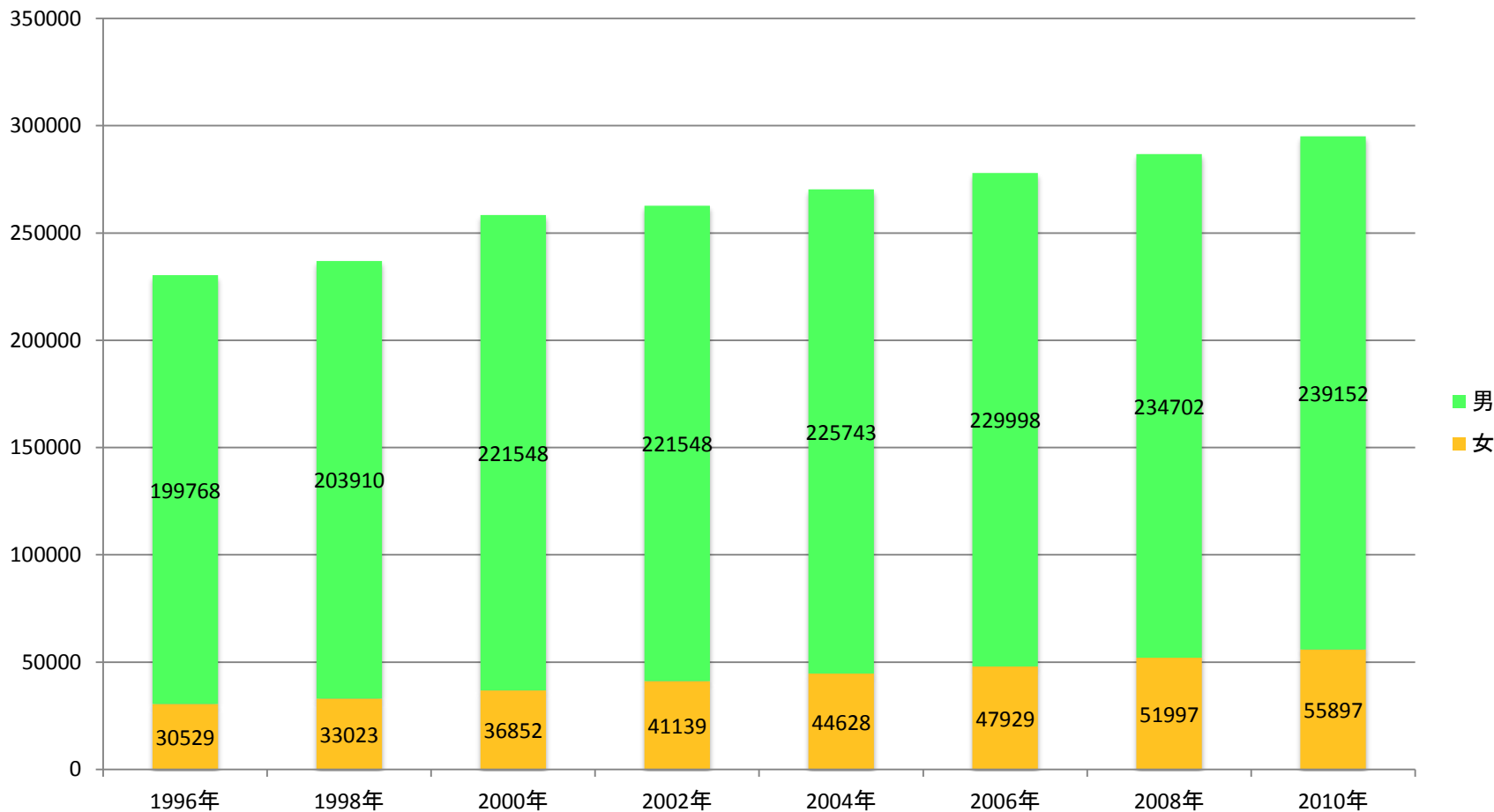
34.5%

14.7%

日本は女性の研究者の割合が少ない

# 日本の医師数と性別の年次推移

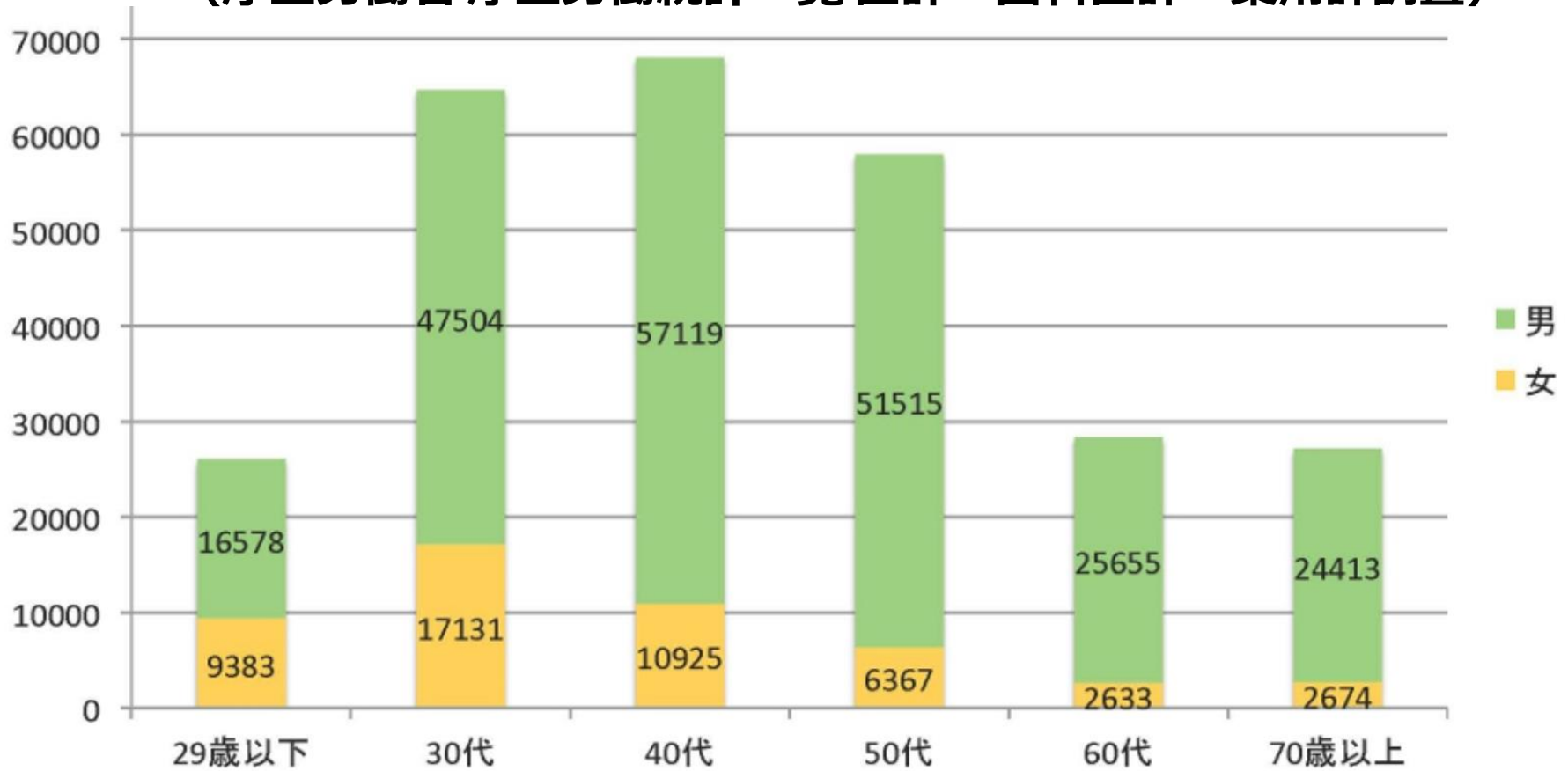
(厚生労働省 厚生労働統計一覧 医師・歯科医師・薬剤師調査)



2010年の医師全体に占める女性医師の比率は18.1%

# 性・年齢階層別医師数

(厚生労働省 厚生労働統計一覧 医師・歯科医師・薬剤師調査)



若い年齢層では女性医師の比率が高く、特に出産・育児などでの課題が多い**30代での女性医師の比率は26.5%**

## 日本における女性研究者比率が低い理由

- 出産・育児や介護の負担に対するインフラ整備など、女性研究者への支援策が追いついていない
- 大学教員2736人を対象に実施したアンケートで「**家庭と仕事の両立が困難**」が**一番の理由（54.6%）**に挙げられている
- 子育てをしている研究者のために保育施設を使いやすくしたり、妊娠・出産による研究の中断から復帰しやすくしたり、「不公平な処遇」を受けないようにするなどの支援策を実施するべきと考えられる

（【ノーベル賞】世界上位の受賞数を誇る日本には、なぜ女性受賞者が1人もいないのか  
[BuzzFeed Japan](#) 2016/10/4 17:01 配信）

# ダイバーシティについて

## ◆ダイバーシティとは

- 1 多様性 相違点

- 2 企業で、人種・国籍・性・年齢を問わずに人材を活用すること。ビジネス環境の変化に柔軟、迅速に対応できると考えられている

## ◆女性も含めた多様な人材が集まることによって、より大きな技術的飛躍が可能であるとして、欧米ではダイバーシティを重要視している

# 文部科学省では2015年度から、「研究と出産・育児・介護等との両立や女性研究者の研究力の向上を一体的に推進」することを目的にした支援策「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」を新たに始めた



文字サイズ 小 中 大

リンク

English

お問合せ

## ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業

Google

検索

HOME

プログラム概要

選定機関等

連携機関マップ

公募情報

Q&A



女性研究者の登用は、男女共同参画の観点はもとより、多様な視点や発想を取り入れ、研究活動を活性化し、組織としての創造力を発揮する上でも、極めて重要です。本事業では、女性研究者がその能力を最大限発揮できるよう、出産、子育て又は介護等の「ライフイベント」と研究を両立するための環境整備を行う取組を支援します。

[JSTトップ](#) > [科学技術イノベーション創出基盤構築事業](#) > [ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業](#)

[http://www.jst.go.jp/shincho/josei\\_shien/program/index.html](http://www.jst.go.jp/shincho/josei_shien/program/index.html)



# 文部科学省が行う女性研究者研究活動支援事業とは、 どのようなものでしょうか？

●女性研究者支援事業(平成24年度予算額／727 百万円　平成25年度予算案／1,006 百万円)

これまで、女性研究者がその能力を最大限発揮できるよう、研究と出産、子育て又は介護を両立するための環境整備を行う取組を支援し、女性研究者の活躍を促進してきました。平成25年度からは、従来の取組(一般型)に加え、新たに、他の機関と連携し、取組の一層の普及を目指すもの(拠点型)を支援します。

○対象機関：大学、大学共同利用機関、独立行政法人

○補助期間：3年間

## 支援内容

- 女性研究者に対する支援体制及び相談体制の確立
- 研究者が研究とライフイベントを両立するために必要な研究支援者の配置
- 時短勤務等の柔軟な勤務体制の確立
- 研究組織の幹部、研究者等を対象とした女性研究者の採用、昇進等に関する意識啓発のための活動
- 女性研究者次世代育成のための、女子学生向けキャリアパス支援
- 女性研究者支援をさらに普及させるため、共同研究を行っている企業等他機関や地域との連携の強化【拠点型】  
(シンポジウムの開催等によるネットワークの構築、共同研究を行っている企業等の女性研究者への支援等)

[http://www.jst.go.jp/shincho/josei\\_shien/program/index.html](http://www.jst.go.jp/shincho/josei_shien/program/index.html)

- ◆「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」によって女性研究者が研究を続けていけることが望まれる
- ◆日本の科学技術全体のためにも、男女に関わらず、研究者が、自らの研究に没頭できるための環境づくりが求められている



## まとめ

- **日本女性放射線腫瘍医の会  
Japanese Association for Women  
Radiation Oncologist (JAWRO)の紹介**  
→ **是非とも入会してください！  
お待ちしております！**
- **「日本は女性の研究者の割合が少ない」**  
→ **日本の女性研究者への支援は遅れている**
- **文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニ  
シアティブ」**

# 11/10 (木) 3:14配信 最後のスピーチに臨むヒラリー・クリントン



「私たちは最も高い『ガラスの天井』を打ち破ることはできませんでした。でも、いつか誰かが打ち破るでしょう。そのときが、今、私たちが考えている以上に早いことを望みます」

そして、全ての少女たちに聞いて欲しい、と言葉を続けた。

「あなたは、価値がある存在で、しかも力強い。あなたの夢を実現する機会を追い求めるに値します。そのことを、決して疑わないで」